

原水爆禁止二〇二〇年世界大会の挙行にあたり、原爆被災により犠牲になられた方々に対し、習志野市民を代表して謹んで哀悼の意を捧げます。

平成二十一年のオバマ前アメリカ大統領によるブラハ演説以来、核兵器廃絶への動きは世界的にも高まっております。

また、昨年十一月には、ローマ教皇が来日し、核兵器のない社会の実現を求めるメッセージを発信したことは記憶に新しく、国際社会が「核なき世界」の実現に向けて着実に前進していると感じております。

一方で、昨年五月には、アメリカ合衆国において臨界前核実験が実施されていたことが報じられました。

核兵器廃絶への道は依然険しいものでありますが、本市は、昭和五十七年に千葉県内で初めて「核兵器廃絶平和都市」を宣言して以来、平和事業を展開し、戦争の悲惨さ、核兵器の恐ろしき、平和の尊さを次世代に継承し、再びあの惨劇が地球上で繰り返されることのないよう様々な場面で訴え続けて参りました。

今年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のため、例年とは異なる方法での事業実施となりますが、「こんな思いは他の誰にもさせてはならない。」という被爆者の強い願いを、私たちは被爆国日本の一員として受け継ぎ、恒久平和を願う活動を今後も更に続けてまいります。

重ねて、犠牲になられた方々の尊い御霊に心から御冥福を祈念申し上げると共に、皆様の今後ますますの御健勝をお祈り申し上げます。メッセージとさせていただきます。

令和二年八月

習志野市長

宮本 泰介

(公印省略)

## 原水爆禁止2020年世界大会・市長メッセージ

核兵器の廃絶と恒久平和の実現は、市民の願いであり、人類共通の願いです。

この願いが、1日も早く実現するためには、不断の努力が何よりも大切なことであり、実現に向けて取り組んでこられた実行委員会の皆様に、深く敬意を表するとともに、非核平和を願う皆様の活動の輪が、さらに広がっていくことを祈念いたします。

令和2年7月1日

東金市長 鹿間 陸郎

「原水爆禁止2020年世界大会」が開催されるにあたり、核兵器の廃絶と恒久平和のために日頃から活動されている皆様に対し敬意を表します。

世界的に核兵器廃絶の気運が高まっておりますが、未だに世界には多くの核兵器が存在しており、各地の紛争もなくなりません。

本市も戦争の悲惨さと平和の尊さを後世に伝え、二度と戦争の惨禍を繰り返さないよう不断の努力を続けてまいります。

令和2年7月

大網白里市長 金坂 昌典

日頃より核兵器廃絶、世界平和実現のためご尽力  
くださっている実行委員会の皆さんに心から敬意  
を表します。

今年は、広島、長崎に原爆が投下されて七十五年  
の節目を迎えます。この間、二度と悲劇をおこして  
はいけないと、多くの人が行動してきました。

私も地方行政を担う者として、市政に平和、核廃  
絶を基本に、平和教育、平和活動に取り組んできた  
ところ です。

これからも考えを同じくする人々と連携し、核兵  
器のない平和な世界の実現のため努力していくこ  
とをお誓い申し上げ、メッセージと致します。

令和二年七月吉日

千葉県いすみ市長 太田 洋